

# ル・コルビュジエ「カップ・マルタンの休暇小屋」実測・施工図面の教材化 その1：平面図を中心に

八代研究室  
01612155 大川 結花

## 1. 研究の背景及び目的

現在大学キャンパスには、ル・コルビュジエが設計した「カップ・マルタンの休暇小屋」（以下、休暇小屋）の原寸レプリカが設置されている。これは、2011年にスタートした学長プロジェクトの成果である。レプリカ制作は実際に現地であるフランスに赴き、現物を詳細に実測して図面を起こし、それに基づき制作されたものである。本研究は、原寸レプリカの実測・施工図面の平面図を中心に教材化することを目的とする。

## 2. 修正図面（表1）

休暇小屋の原寸レプリカ制作を一冊の本にまとめるにあたり、図面の整理を改めて行った。その際に図面（平面図、立面図、断面図、建具図、家具図、展開図、天井伏図、金物図）の不明確な箇所をレプリカで検証し、修正を加えた。下線が担当した図面である。さらに表1に修正図面の種類、縮尺、主な修正内容を記す。

表1 修正図面一覧

図面の種類	縮尺	修正内容
平面図	1/20	(枚数) 5枚→1枚
天井伏図	1/50	(縮尺) 1/20→1/50
家具図①洗面器	1/5	(枚数) 3枚→1枚
家具図①洗面棚 ②造り付けクローゼット	1/10	① (枚数) 5枚→1枚 ② (枚数) 2枚→1枚 (名称変更) 服入れ→造り付けクローゼット

## 3 整理・修正の内容

以下では、表1の修正図面一覧から平面図と家具図（造り付けクローゼット）を主な項目として説明する。

### 3-1. 平面図（図1）

平面図では、まず線の太さに注目して修正した。例えば図面において一番太い線は壁の断面を表現する際に使用①し、一番細い線は寸法線を書く際に使用②した。壁部分はハッチング⑩をする事により図面にメリハリをつけ、見やすい図面へと修正を加え

た。また小屋内の目地⑬において、レプリカと元図面で相違が見られたので、実際に大学構内にあるレプリカで実測し、図面に修正を加えた。図面整理が後半に差し掛かると特に図面間（平面図、立面図、断面図）の統一⑪を意識し、文字の種類、文字の大きさ、線種等を修正し統一した。

### 3-2. 家具図-洗面棚（図2）

洗面棚では、まず寸法線の太さの調整①と、文字の大きさの調整②を行なった。元々洗面棚独立の図面だったが、洗面器とタオル掛けを追加挿入④⑤し表す事でよりレプリカに近づける。また戸棚にはコルビュジエの建築の特徴でもある色彩が用いられている。この箇所の色付け⑬等を行う事によりレプリカを忠実に再現した。

### 4. 折り紙建築の制作（図3）

今回の図面制作で得た知見・成果を折り紙建築で表現した。（写真1）図面上では平面でしか見えていなかったものが、三次元に起こすことによって新しい発見や学びを得ることが出来た。

## 5. おわりに

今回の研究で、教材化となる実測・施工図面の整理を改めて行った。図面の表現の仕方や、よりレプリカを忠実に再現するよう意識し作業を行なった。カップ・マルタンの休暇小屋の図面は今まで詳細が存在していなかった。その建築をくり返し計測、検証を行い、改めて精査する事で、より図面としての価値が上がる。また本大学の教材として活用する事が見込める。

### 【謝辞】

本制作を進めるに当たり、最後まで温かいご指導、ご助言をして下さった藤原成暁名誉教授に心より感謝いたしますと共に厚く御礼申し上げます。

### 【参考文献】

鈴木一誌『ページとカー手わざ、そしてデジタル・デザインー』青土社（2002）

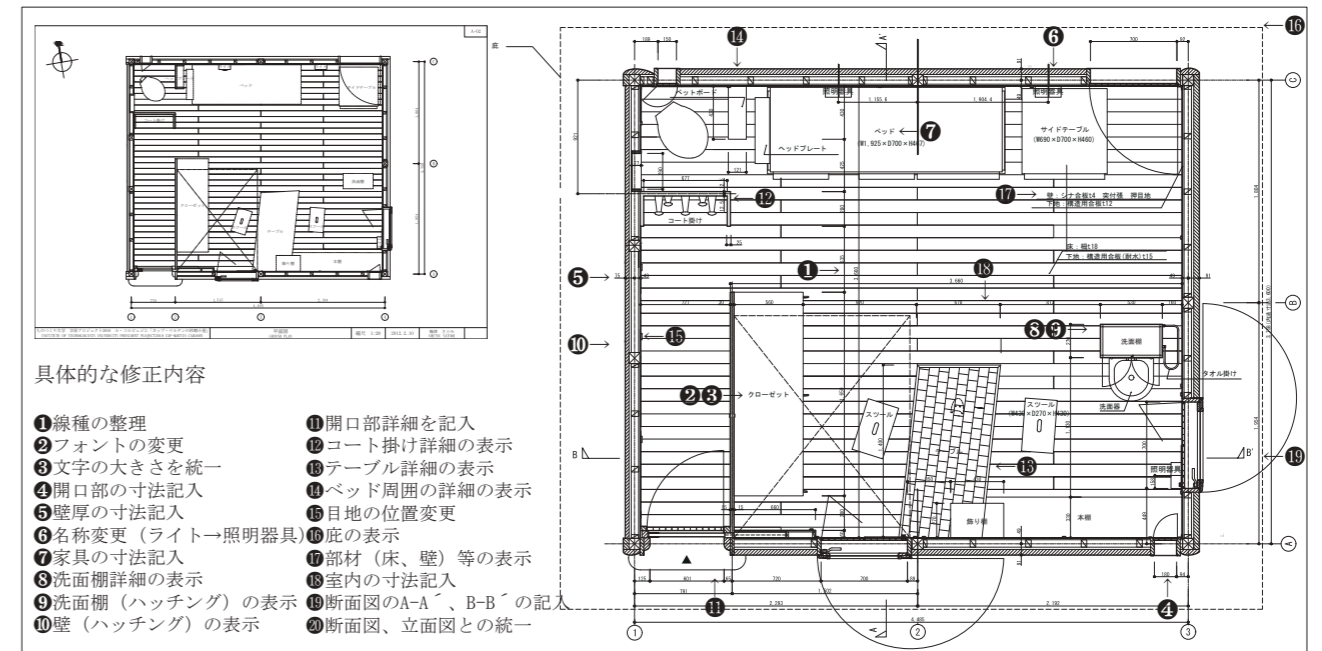


図1. 平面図の教材化（左上：元図面、右：修正図面、修正箇所）

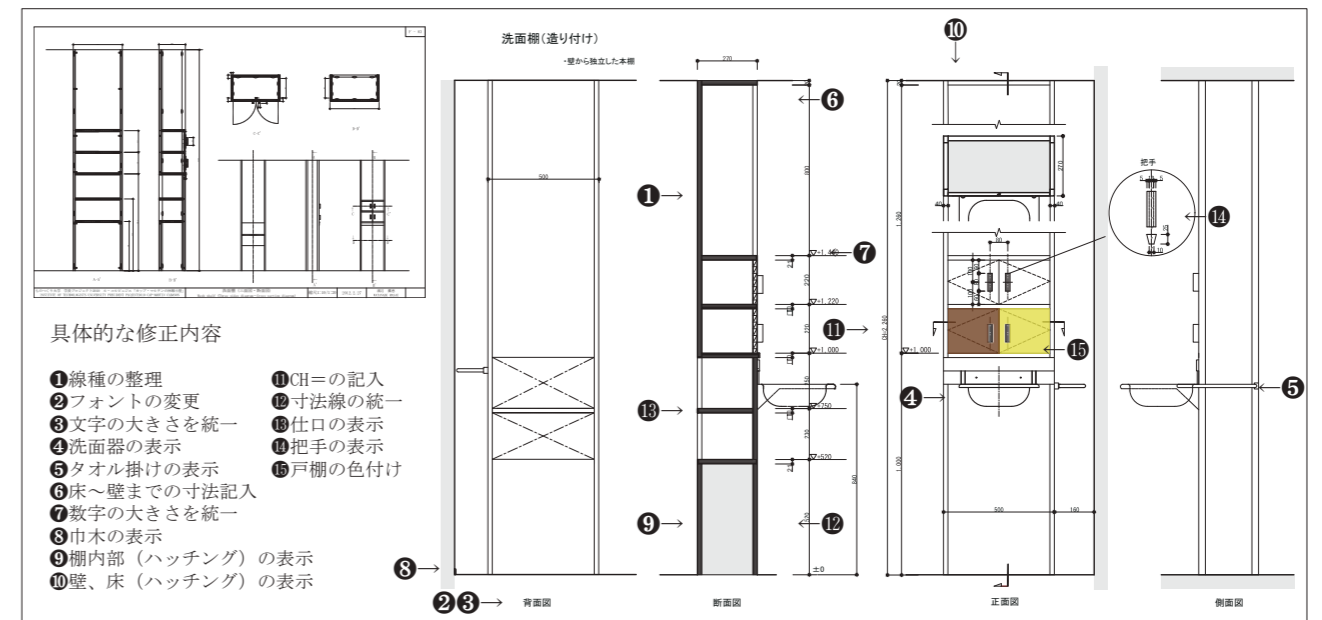


図2. 家具図（洗面棚）の教材化（左上：元図面、右：修正図面、修正箇所）

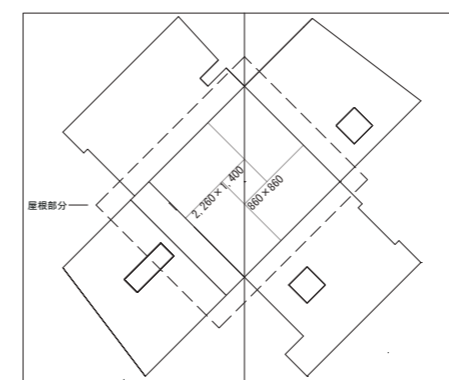


図3. 折り紙建築図面



写真1. 南西側から撮った外観写真